鳥栖市報

―発行所―
佐賀県（鳥栖局区内）
鳥栖市太通町一丁目
鳥栖市役所（電3111番）
発行責任者　海口守三
定価　1部3円
印刷所　昭和紙工KK

市民の動き

	人	人	人	人	人	件
人口	41,872					
世帯	8,224					
転入		164	187	53	27	30
転出		187	37	27	0	2
死亡		3				
結婚		2				
離婚						

（6月末現在）

小児マヒ予防

まず環境を清潔に
おびえずに正しい認識を

熊本、福岡で多発

本年の小児マヒの発生は、昨年の7月三日現在で、九州で二百人、福岡県で百人、熊本で百人、佐賀で七名で、とくに熊本、福岡県に集中的に発生、九州だけで全国患者数の半分以上を占めている。

全国的には昭和三十三年に四、三三三名の発生をみたのを最高として、現在まで漸減の傾向をたどっている。毎年一〇、〇〇〇〇名の患者が発生、昨年一年間の患者数は報告で多発した北海道庁の調査によりますと、ちょうどかたくなるものと、同時に知能の発育を妨げられる脳性小児マヒとに分けられる。

脳性小児マヒは、さらに先天性のものと、大脳の運動中枢、障害のために、手足などがしゃ緩性麻痺を起こすものとに分けられる。

小児マヒの予防注射

……東町保育園で

7月1日から消毒がはじまりました

小児マヒ対策
市議会でも熱心に質問

一般質問の第一陣に立った松本議員が、小児マヒ対策問題をとりあげたのを皮切りとして、続々と、関連問題が飛び出し、衆議院議員の石井マツ、折からの本、福岡を中心とする九州の小児マヒ患者は百人余を突破したという時期だけに、驚嘆さんも、さきかノイローゼ気味でした。以下当日の熱心な市会議員のスケッチ

松本議員　小児マヒとの対策について、十月定例市議会初日の二十三日、とりあげたいとの考えをのべた。

古賀課長　県内で六人目の患者が鳥栖市に出たこと、遺憾であるとの答弁。

石井議員　衆議院議員は、ひっぱりだこ二年ぶり

6月定例市議会ひらく

六月二十三日から始まった六月定例鳥栖市議会は、三十六年度の追加更正予算など三十一議案について審議、全議案を可決して六月三十日閉会しました。

新農村建設事業 五か年の偉業終る

更に吉川農機製作所の誘致確定

海口市長の経過報告 概要

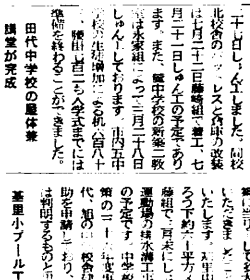
六千八百八十戸の住宅を建てる

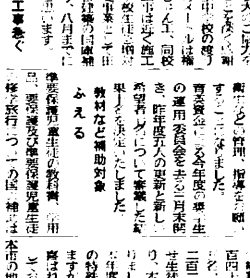
住宅建設については、住宅の払い下げについて折衝を続けましたが、昨年度までの四、千戸、五月二日を残し解決しました。この九月二日までは住宅を続けております。◎本年度住宅建設については、二棟六戸建十八戸、二棟同二十二戸の市営住宅、簡易耐火平屋の二十戸、同二階建十二戸の県営住宅の建設を予定しています。

住宅戸数を増やす

住宅建設に伴う、住宅の払い下げについて、折衝を続けましたが、昨年度までの四、千戸、五月二日を残し解決しました。この九月二日までは住宅を続けております。◎本年度住宅建設については、二棟六戸建十八戸、二棟同二十二戸の市営住宅、簡易耐火平屋の二十戸、同二階建十二戸の県営住宅の建設を予定しています。

住宅建設については、住宅の払い下げについて、折衝を続けましたが、昨年度までの四、千戸、五月二日を残し解決しました。この九月二日までは住宅を続けております。◎本年度住宅建設については、二棟六戸建十八戸、二棟同二十二戸の市営住宅、簡易耐火平屋の二十戸、同二階建十二戸の県営住宅の建設を予定しています。





六千八百八十戸の配内示されました。

軒目駅車は年を追って増加しており、調定額は五千七百六十二万円となっていますが、昨年度までの四、千戸、五月二日を残し解決しました。この九月二日までは住宅を続けております。◎本年度住宅建設については、二棟六戸建十八戸、二棟同二十二戸の市営住宅、簡易耐火平屋の二十戸、同二階建十二戸の県営住宅の建設を予定しています。

住宅建設については、住宅の払い下げについて、折衝を続けました

市議決定案のあらまし

市営住宅を50戸

儀徳町、立石町に新団地

県営住宅も建つ

三十戸（一種十戸、一種二十戸）、儀徳町字石原地区（三十戸）、立石町字中ノ原地区（二十戸）の三地区に建てられます。儀徳町と義務団地は鉄筋三階建ての後川の改修に伴い現在の下野の堤の上、肥前旭上二戸が年度、次年度にそれぞれ二戸ずつ建てられます。

この外、県の特別住宅になることになりましたこれは、筑前川の改修に伴い現在の下野の堤の上、肥前旭上二戸が年度、次年度にそれぞれ二戸ずつ建てられます。

また、立石団地は本年度の民家が移転しなければならないなどの理由で、この第一、二次の調査をしまして、現在の下野町入口にあるお宮の敷地内に近く第二の予定です。建物は木造平屋建で、総坪約三百五十坪ストーブ。

私立の下野保育所が一市立保育所下野園として新しく建て直されることになりましたこれは、筑前川の改修に伴い現在の下野の堤の上、肥前旭に移転しなければならなくなるので、下野保育所をはじめ、下野の民家が移転しなければならなくなるからで、この第一、二次調査をしまして、現在の下野町入口にあるお宮の敷地内に近く第二の予定です。建物は木造平屋建で、総坪約三百五十坪ストーブ。

現在の下野堤防は建設省の計画で北側へ引き下げられるので、下野保育園（矢印）一帯の家が移転させられます

県内で初の試み

果樹、庭木の病虫害

希望により市が防除

下野保育所 市立で建て直す

県内で初めての試みとして、果樹、庭木の病虫害の防除を希望により市が防除することになりました。

これは、農作物の病虫害の防除を希望により市が防除することになりました。

これは、農作物の病虫害の防除を希望により市が防除することになりました。

これは、農作物

国の行政の苦情相談

「協力委員」に山津さん どうぞ気軽にご利用を

苦情行政監察局では、県下二十八市町村ごとに「行政苦情相談協力委員」を置き、本年度から五人の「行政苦情相談」が、まだ申し込み漏れの向きもあるようなので、七月一日まで、二百三十日まで、企画日から活動を始めることとなり、幸統計係、お申し込みください。

鳥栖市から秋葉町区長の山津徳太郎さん(58)が選ばれました。

これは、行政監察局に、いろいろの苦情の生活のやり方を調べて、より適当に能率的に行こうという趣旨で、県下二十八市町村ごとに、原則として一人ずつ、苦情相談協力委員を置くことになったもの。

委員は、市町村の苦情相談協力委員会の推薦を受けて、県知事が任命します。

委員は、苦情の相談を受け、その解決のお手伝いをするほか、苦情の原因の調査、苦情の解決のための調査、苦情の解決のための調査、苦情の解決のための